

日本電子キーボード音楽学会

第15回全国大会

要項

主催：日本電子キーボード音楽学会
とき：2019年9月8日（日）
ところ：聖徳大学

目次

プログラム	2
ごあいさつ	3
基調講演 電子楽器の100年 —先駆者たちの果てしない夢— 三枝 文夫 (コルグ株式会社 監査役)	4
ラウンドテーブル① 電子オルガンの配置と音響効果 —様々な事例について— ファシリテーター: 赤塚 博美 (洗足学園音大) / 岩井 孝信 (聖徳大学) 書記: 三宅 康弘	6
ラウンドテーブル② 電子ピアノ・ICTを使う音楽教育の将来像を追求する—Ⅲ—具体 方法論と発信を通して— 発表者: 井上 洋一 (愛媛大学) / 赤津 裕子 (竹早教員保育士養成所) / 小池 太郎 (株式会社エムアイセブンジャパン) ファシリテーター: 田中 功一 書記: 小倉 隆一郎	8
ラウンドテーブル③ タテ線譜・ユリディスとは何か—V—その融合的試行を追加する — 報告者: *タテ線譜: 阿方 俊 (平成音大) *自動伴奏: 齋藤 康之 (木更津高専) 他 話題提供者: 西山 淑子 / 橘川 琢 / 小澤 真弓 / 小熊 達弥 ファシリテーター: 齋藤 康之 書記: 小澤 真弓	10
研究発表	
① 電子オルガンと声楽、アコースティック楽器とのコラボレーションの一考察—アレン ジとバランスの考え方— 赤塚 博美	12
② 「小学校教員養成における音楽実技授業のICT活用例」 小林 恭子	13
③ 自動伴奏システム Eurydice の機能拡張とタテ線譜の併用事例 齋藤 康之 / 坂井 康二 / 五十嵐 優	14
④ 大学エレクトーンサークルの活動—京都大学エレクトーンサークルKUESの活動紹介 — 櫻庭 芳樹	15
⑤ 「タブレット端末と楽器を用いた創作にみる差異—箏曲の創作実践から— 石川 裕司	16
⑥ 自動伴奏システムEurydiceのハードウェアの開発と厚木市に於ける実用事例 坂井 康二、五十嵐 優	17
⑦ エレクトーン教材の変遷 増田 豊彦 (ヤマハ音楽研究所)	18
⑧ 自学自習を支援するネット配信による「完全独習」歌唱教材—楽譜と演奏情報動画の 作成および利用方法の改善— 岡崎 豊治	19
⑨ タテ線譜メソッドの原点から今後のあり方を考える—1— 阿方 俊	20
ポスターセッション出展者	21

プログラム

10:00 受付

10:30 開会

あいさつ 八木 正一 (聖徳大学音楽学部/教授・学部長補佐)

金銅 英二 (松本歯科大学口腔解剖学講座教授・学会代表)

10:45 基調講演 電子楽器の100年 —先駆者たちの果てしない夢—
三枝 文夫 (コルグ株式会社 監査役)

11:30 総会

1. 開会の辞

2. 議長選出

3. 報告

1) 平成30年度活動報告

2) 平成30年度会計同監査報告

4. 協議

1) 2020年度全国大会開催候補地 他

5. 閉会の辞

12:00 昼食

12:50 ラウンドテーブル

① 電子オルガンの配置と音響効果 —様々な事例について—

ファシリテーター: 赤塚 博美 (洗足学園音大) / 岩井 孝信 (聖徳大学) 書記: 三宅 康弘

② 電子ピアノ・ICTを使う音楽教育の将来像を追求する—具体的な方法論と発信を通して—

発表者: 井上 洋一 (愛媛大学) / 赤津 裕子 (竹早教員保育士養成所) /

小池 太郎 (株式会社エムアイセブンジャパン)

ファシリテーター: 田中 功一 書記: 小倉 隆一郎

③ タテ線譜メソッドとは何か - V - その融合的試行を追加する—

報告者: *タテ線譜: 阿方 俊 (平成音大) *自動伴奏: 齋藤 康之 (木更津高専) 他

話題提供者: 西山 淑子 / 橋川 琢 / 小澤 真弓 / 小熊 達弥

ファシリテーター: 齋藤 康之 書記: 小澤 真弓

14:50 研究発表

① 赤塚 博美 電子オルガンと声楽、アコースティック楽器とのコラボレーションの—考察—アレンジと
バランスの考え方—

② 小林 恭子 「小学校教員養成における音楽実技授業のICT活用例」

③ 齋藤 康之 / 坂井 康二 / 五十嵐 優 自動伴奏システムEurydiceの機能拡張とタテ線譜の併用事例

15:30 研究発表

④ 櫻庭 芳樹 大学エレクトーンサークルの活動—京都大学エレクトーンサークルKUESの活動紹介—

⑤ 石川 裕司 「タブレット端末と楽器を用いた創作にみる差異—箏曲の創作実践から—」

⑥ 坂井 康二 / 五十嵐 優 自動伴奏システムEurydiceのハードウェアの開発と厚木市に於ける実用事例

16:10 研究発表

⑦ ヤマハ音楽研究所 (増田 豊彦) エレクトーン教材の変遷

⑧ 岡崎 豊治 自学自習を支援するネット配信による「完全独習」歌唱教材—楽譜と演奏情報動画の作成および利用方法の改善—

⑨ 阿方 俊 タテ線譜メソッドの原点から今後のあり方を考える—1

16:40 ポスターセッション

*音楽療育鍵盤指導研究ネットワーク、*菊池 和奏 / 呼野 亜美香 (洗足学園音楽大学学生)、

*岡本 古都美 (洗足学園音楽大学大学院生)、*楠本 未来 / 森松 慶子、*森松 慶子 / 金銅 英二、*アマー
ビレ電子オルガンコンテスト (森松 慶子 / 金銅 英二)、*櫻庭 芳樹、*増田 豊彦 (ヤマハ音楽研究所)

17:40 懇親会

電子ピアノ・ICTを使う音楽教育の将来像を追求する-Ⅲ
—具体的な方法論のまとめと発信を通して—

電子ピアノ・ICT部会

ICTの時代と言われるようになって十数年経ちます。その間、ICTの発展に伴い電子ピアノを使った多様な活用事例が報告されています。本部会の研究報告においても、ピアノとICTによる音楽表現や音楽教育の取り組み、さらに他の分野との協同や融合へ可能性が見られます。

今後、ICT環境における電子ピアノの実験的な試みや取り組みを歓迎します。今回のラウンドテーブルを通して議論が深まることにより将来の可能性が期待されると思います。

第13回大会から3年かけて標記の「電子ピアノ・ICTを使う音楽教育の将来像を追求する」をテーマにラウンドテーブルにて議論を進めてきました。本日第15回大会ではシリーズのまとめとしてサブテーマ「具体的な方法論のまとめと発信を通して」を設定します。

本日ご参加される皆様には、発表者の話題提供を受けて活発にコメントをいただき、全員参加によるラウンドテーブルになることを期待しています。

話題提供者：井上 洋一（愛媛大学）

赤津 裕子（竹早教員保育士養成所）

小池太郎（株式会社エムアイセブンジャパン）

ファシリテーター：田中 功一（立教女学院短期大学）

書 記：小倉 隆一郎（文教大学）

<進 行>

1. 開会（5分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・田中 功一
2. 話題提供者自己紹介（各5分）・・・・・・・・・・・・・・・・各発表者
3. 話題提供者スピーチ（各15分）&意見交換（各10分）
全員参加の創作指導と評価 —「個性」「独創性」をいかに見出すか— 井上 洋一
保育者養成における音楽的専門性の内容と指導について
— 養成と採用・研修の流れを踏まえて — 赤津 裕子
音楽制作におけるDAWおよび楽譜作成ソフトウェアの役割と音楽教育への応用
小池 太郎
4. まとめ&意見交換（25分）・・・・・・・・・・・・・・・・田中 功一

話題提供者ご紹介

井上 洋一（愛媛大学）

愛媛大学教育学部特音課程卒業、兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了。中学校教諭として電子楽器の活用や創作指導に重点をおいた実践研究を行った後、現在は、愛媛大学教育学部および教育部研究科において「音楽理論・作曲法」「音楽デザイン」「音楽科教育法」等の科目を担当。

ICTを活用した音楽教育についての研究の他、指揮、作曲活動も行っている。2017年開催の第72回国民体育大会では、入場行進曲、炬火関連曲の作曲を担当した。

赤津 裕子（竹早教員保育士養成所）

竹早教員保育士養成所専任教員。日本女子大学家政学部児童学科講師。

東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専攻修士課程修了（教育学修士）。主たる研究テーマは、保育者に求められる専門性の育成について、その内容と方法である。幼稚園の園内研修の講師として、子どもの表現やカリキュラムマネジメントに携わり、地域の子育て支援においては、乳幼児を対象に児童文化伝承の視点から音楽的な場の提供を行っている。令和元年開園の品川区立八潮すこやか園園歌を作曲した。養成校では「音楽理論」「音楽表現」「子どもと表現」「表現指導法」等の科目を担当。平成7年度より導入しているMLシステムを活用し、ピアノ初心者のためのカリキュラムを開発し、現在は、実践の場で求められる音楽的な応用力に着目し、アンサンブルやアレンジの授業を行っている。

小池太郎（株式会社エムアイセブンジャパン）

筑波大学大学院修士課程環境科学研究科修了。2005年にバークリー音楽大学に入学、映画音楽作曲法およびジャズベースを学んだ後、ロサンゼルスを拠点とした音楽制作プロダクションに参加し、バイオハザード6（CAPCOM、2012）などゲーム音楽の作曲／オーケストレーション／海外オーケストラ収録の制作管理を担う傍ら、音楽学校1140MAを主宰し、ベース講師としても活動。

2015年より現職にて、主に楽譜作成ソフトウェアFinaleの日本語版ローカライズおよびマーケティング業務に携わっている。